

アート・アスレチック教育 ニュースレター

Vol. 3

Topics ▶▶▶ ログマーク完成！// 共催・協賛事業の報告// 今後の予定

本センターの顔となるログマークが決定し、HPも着々と仕上がってきています。この夏休み期間では、共催・協賛事業を3つ実施しました。本ニュースレターでは、これらの様子をまとめてお伝えしていきます。

アート・アスレチック教育センターのログマークが完成しました！



アート・アスレチック教育センター
CAAEE Center for Applied Arts and Athletics Education



CAAEE
Center for Applied Arts and Athletics Education



アート・アスレチック教育センター
Center for Applied Arts and Athletics Education

本センターのログマークのデザイン原案を学生に募集し、その中から採用したデザインをもとに、ログマークを作成しました。多くのデザイン原案が集まり、センター教員共々嬉しく思います。応募してくださった学生の皆さまに、この場を借りて御礼申し上げます。集まった作品の中から、美術科とセンターの教員で話し合い、井富有音さん（教職大学院1年）の作品に決定しました。センターの核であるアート・アスレチック（Art & Athletics）の“A”を強調していることや、作品コンセプトがセンターの方向性をよく反映していたことから選定させていただきました。その他、デザインの意図を聞いてみたくなりコミュニケーションが生まれやすい、誰でも真似してかけるめ今後ワークショップにも活用できそうといった意見もあがり、さまざまな可能性を秘めているロゴだと感じています。

井富さんに、作品に込められた思いや意図などを聞いてみました。



この度は、選んでいただき、光栄です。ロゴのデザインでは、Aをモチーフに、視覚的なわかりやすさ、親しみやすさを基調としました。まず、アートとアスレチックの共通点を、人と人が作用しあうことと考えました。そこで、人や人が生み出したものが、繋がって共鳴し連鎖していく様を、2つの「A（人、表現〔芸術・スポーツ〕）」が1つの「わ（輪・和・話）」へと繋がることで表現しました。新しく開設されたこのセンターも土台にしながら、アートとアスレチックの実践を繋げ、重ねていくことを楽しみにしています。

共催・協賛事業の報告

音楽分析特別セミナー 〈共催〉

7月28日(日)・29日(月)の2日間にわたり、音楽分析特別セミナーが芸術館(学芸の森ホール)にて開催されました。講師には、ザルツブルク・モーツァルテウム大学より、バーバラ・ドブレツベルガー先生をお招きしました。セミナーでは音楽的な視点のみならず、絵画(美術)や詩、スポーツなど、他分野と関連させたお話や、本学学生による演奏も交えて行われました。楽譜を分析するだけでなく、多角的な視点から曲をみていくことで、より楽曲理解を深めることができました。



音楽分析セミナー

芸術教育のチカラ

—教育の現場から音楽教育、美術教育、工芸教育、書道教育を語る— 〈共催〉



芸術教育のチカラ

8月25日(日)東京都美術館講堂において、「芸術教育のチカラ」と題した領域横断シンポジウムが行われました。シンポジウムには、高等学校における音楽・美術・工芸・書道の各分野の教員が登壇し、芸術教育の意義や可能性など、その魅力について熱く語っていただきました。それぞれの分野で実践することは違えど、芸術教育だからこそ育むことができるチカラや、これからの社会で生きていく上で必要なチカラなど、芸術科に共通することが多くあり、領域横断的に考えることでその重要性を改めて感じました。

〈登壇者〉

- ・音楽：島田 沙苗 先生 (都立本所高等学校教諭)
- ・美術：嶽 里永子 先生 (東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭)
- ・工芸：神田 春菜 先生 (東京学芸大学附属高等学校教諭)
- ・書道：荒井 一浩 先生 (東京学芸大学附属高等学校教諭)

シンポジウムを企画した草津先生(書道分野)より、一言いただきました。

「今回の領域横断シンポジウムを通して、芸術教育の重要性、高等学校芸術科を俯瞰して考えることの重要性を私自身再認識することができました。何より登壇された先生方のすばらしい実践を拝聴し、もっといろいろとお話を聞く機会がほしいと思いました。」

音楽科同窓会ふれあいコンサート 〈協賛〉

音楽科同窓会主催の「ふれあいコンサート」が芸術館ホールで実施されました。本学名誉教授の横山和彦先生による歌曲の演奏と、J.S. バッハ作曲の「マニフィカート」の合唱講習会が行われ、多数の同窓生・学生が集い、音楽を通じて旧好を温めました。当センターの協賛によって、卒業生にもその開設を知っていただく機会となりました。

今後の予定

CAAEEオープニング記念事業「あそぶ・つなぐ・越える！」

11-12月にかけてCAAEEオープニング記念事業として、サッカーフェスティバルや展覧会、演奏会等を開催します。これらの詳細は、次ページのチラシをご覧ください。

テーマは「あそぶ・つなぐ・越える！」

「あそぶ」ことは、芸術・スポーツ・学びの出発点であり、また人生の目的にもなり得ます。芸術とスポーツの力で、地域と大学を「つなぐ」ことによって、分野・領域を「越える」活動を、一層推進していきたいと思っております。多くの皆様のご参加・ご来場をお待ちしております。